

こんなことを聞きました！

市政を問う一般質問を開催 市民の思いを胸に、13名が登壇

各議員がさまざまな視点からまちの課題などに対する考えを聞く一般質問。ここでは、質問の内容をダイジェストでお伝えします。二次元コードから録画配信をご覧ください。



議員	会派名 氏名	録画 配信
質問	議員の質問	
回答	市長などの回答	
ひと言	質問に込めた思いなど	



公明党議員会

ふじもと ひで き
藤本 秀樹



電子地域通貨の導入を 検討せよ！

質問

近年、地方自治体において電子地域通貨の導入が拡大している。電子地域通貨は、当該自治体内の登録店舗に使用が限られていることから、「お金の地産地消」と言われており、導入によって地域経済の活性化が期待できるが所見を聞きたい。

回答

本市では、令和4年度に市内の飲食店や小売業者などを支援するため、キャッシュレス決済キャンペーンを実施した。電子地域通貨は、地域経済の活性化につながるほか、ボランティア活動の促進や地域コミュニティの活性化など、様々なメリットがある一方、多くの課題があるため、引き続き研究していく。

ひと言

ボランティア活動を行った方へのポイント付与などにより、地域交流の促進にもつながります。導入に期待します。



あしかが自民党議員会

わたなべ さとる
渡辺 悟



早期に「ゼロカーボンシティ宣言」を！

質問

栃木県は、2050年までのカーボンニュートラル実現に向け、2025年度までに全市町によるゼロカーボンシティ宣言を目指し、支援を強化する考えを示している。本市も早急にゼロカーボンシティ宣言を行うべきと考えるが、所見を聞きたい。

回答

本市も栃木県を構成する自治体の一つとして、カーボンニュートラルの実現に向けて、地球温暖化対策のための取組をより一層強めていく必要がある。現在準備している本市独自のスマートフォン向け環境アプリの配信に合わせて、今年度内にゼロカーボンシティ宣言のキックオフを行いたい。

ひと言

二酸化炭素排出実質ゼロを目指すため、市民・事業所・行政が一丸となって取り組むべきです。